



新治地区のおくやみ放送、行事の中止の放送、火災発生時の放送打ち切りの理由について



鈴木一彦 議員

質問 新治地区の防災無線は、おくやみ放送とか、様々な行事の中止の放送であったり、また初期の頃は火災発生時の放送も行っていたが、それが打ち切られた理由について伺う。

総務部長 は、土浦地区の整備に当たり、1市町村1周波数という電波法の規定により、土浦地区と新治地区とで同一の管理運用規程での運用が求められ、規程の改定を行った結果、今後の運用については、庁内関係各課の検討結果を踏まえ、自然災害情報や有事情報、気象情報や大規模な火災情報などの情報に限定するものとし、4月に新治地区の地区長にその旨を連絡するとともに、各家庭には回覧でお知らせした。

(掲載以外の質問事項)
・同報系防災行政無線の利用

について
・地域防災無線の利用について

・今後、災害時においてアマチュア無線ボランティアとどのように連携していくのか
・コミュニティ交通試験運行について



防災行政無線

土浦協同病院新築に対する土浦市の取り組みについて



川原場明朗議員

質問 土浦協同病院の移転候補地として厚生連は、市提案の真鍋地区でなく、おおつ野地区を逆提案しているが、この問題をどう打開しようとするのか。また、おおつ野地区に候補地が決定された場合、建設助成費をどうするか伺う。

市長 土浦協同病院の移転・新築は、本市のまちづくりの観点から、市民の利便性、安心して生活できる医療サービス

の提供の観点、そして最大限の支援策を含めて、最善を尽くして真摯に対応してきたところ、土地選定結果を協議する土地選定委員会を開催するとの通知が届いた。そして、厚生連の理事会で移転候補地の検討が行われたとの報道があったが、移転先がおおつ野の地区であれば極めて遺憾なことであり、その後の支援については現段階では考えていない。

安心・安全・住まいる助成制度(浸水対策助成)について



荒井 武 議員

質問 ゲリラ豪雨、台風等の冠水対策には、雨水側溝や都市下水路の整備が挙げられるが、整備には時間と多額の費用を要することから、日立市で実施している、大雨等による住宅浸水被害を防止するための工事を行う経費の一部

を助成する事業を取り入れることについての見解を伺う。

建設部長 日立市と同様の助成制度を導入してはとの提案であるが、土浦市と日立市では、地形の条件も違うので、市としては、市民が浸水被害に対して、より安心・安全な暮らしができるよう、現在行っている雨水などを速やかに排除するための施設の整備を引き続き推進してまいりたい。

中学校教科書採択(選定の過程、結果の公表、決定権者)について



柳澤 明 議員

質問 今年は4年に1度行われる教科書採択の年で、この国の未来を背負って立つ子どもたちの将来は、まさに教育にかかっており、その教育の基本となる教科書の選定は大きな意味を持っているが、その選定の過程や結果は公表

されるのか。また、決定権者は誰なのかを伺う。

教長 教科書の調査の観点は、①学習指導要領の目標達成のため内容の選択はどうか。②内容の程度及び取り扱いはどうか。③内容の配列と分量はどうか。④表記、表現はどうか。⑤体裁、使用上の便宜はどうか。の5項目となっております。さらに、それらの項目を細かくした観点に沿って教科書を見ながら調査研究を行い、その結果を教科用図書選定協議会に報告をするということ、選定協議会では、報告に基づき各社教科書を総合的に評価、審議をして、種目ごとに1種類の教科書を選定するという手順である。そこでこの結果に基づき、教育委員会が選定協議会で採択をされた教科書を確認しながら審議して、教科書採択の最終的な議決を行うものである。結果の公表については、不当な影響等により混乱が生じないよう、法令に従い教科書採択事務終了後の9月1日以降になり、採択の決定権者は、教育委員会ということである。

(掲載以外の質問事項)
・中学校教科書採択について